

事務事業名	地区福祉委員会事業補助	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	総務G	課長名	梅木郁夫
施策名	(21)地域福祉の充実	担当者名	吉岡妙子	電話番号 (内線)	0854-40-1041 3612
基本事業名	(060)地域で支えあう意識の高揚	予算科目	会計 款 項 目 中事業 0:1 1:5 0:5 0:5 7:7	社会福祉協議会法人 運営事業補助金	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	地区福祉委員会の推進員手当てを業務委託費として市社会福祉協議会に対して補助を行なう。	合併前三刀屋町で地域福祉の活動拠点として、公民館単位の地区福祉委員会を結成し、担当職員(嘱託)を配置し、地域福祉の推進を図っていた。合併後市社協において、全市に福祉委員会を設置することになった。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
業務委託費としての補助金 地域福祉推進員設置事業補助金:12,000千円 小地域福祉活動事業補助金:5,040千円	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円		14,200	17,000	15,800		
	その他	千円						
	一般財源	千円	5,702	26	40	40		
	事業費計(A)	千円	5,702	14,226	17,040	15,840	0	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人	1	1	1	1		
申請書の受理・審査・補助決定・補助金交付・実績報告(審査)・補助確定	延べ業務時間	時間	4	4	4	4		
	人件費計(B)	千円	15	16	16	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	5,717	14,242	17,056	15,840	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	市社協の申請に基づき、活動の補助を行う。 申請書の受理・審査・補助決定・補助金交付・実績報告(審査)・補助確定	⑤ 活動指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	前年度と同じ	ア 補助金額	千円	5,702	14,226	17,040	15,840		
手段			イ							
			ウ							
			エ							
			オ							

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	福祉推進員	⑥ 対象指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)	
		ア 補助対象地区福祉委員会数	団体	5	29	29	29			
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	地区福祉委員会が中心となり、地域の福祉課題の掘り起こし、対応等を検討し地域で支える福祉のまちづくりを進める	⑦ 成果指標	ア 福祉推進員	人	5	29	29	29		
		イ								
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。	⑧ 上位成果指標	ア 地域福祉活動に関心のある市民の割合	%	65.1	69.2	68.3	68.3		
		イ								

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
合併により、三刀屋町で実施されていた事業を市全体に広めることにした。 平成22年度において市内全ての地域自主組織に地区福祉委員会を設置することができた。	特になし	特になし

事務事業名	地区福祉委員会事業補助	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
-------	-------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 市は地域自主組織の育成強化を進めている。地域の課題を地域の中で解決を図ることは目的を同じくした事業である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 平成22年度から市内すべての地域自主組織に地区福祉委員会を設置し、地域福祉を推進する上で活動の中心となる組織となっている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市社協限定の補助である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 平成22年度から市内すべての地域自主組織において、地区福祉委員会が中心となり、地域福祉活動の推進を図る組織となっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 地域福祉を担う地域の中心的な組織であり、他への移行が困難である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はありますか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 地域自主組織のあり方、交流センターのあり方等含め検討が必要
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 地域自主組織のあり方、交流センターのあり方等含め検討が必要
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在は補助金の交付事務を主としており、活動内容等の指導を行っていない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 平成22年度から市内すべての地域自主組織において地区福祉委員会が配置され、地域福祉を推進する上で活動の中心となる組織となっている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市内全地域に地区福祉委員会を設置することができた。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
特になし																							